

～えがおいっぱい ゆめいっぱい～

わきのしま

令和3年12月24日
多治見市立脇之島小学校
学校報 第16号

人生を豊かにする3つの要素 ～地球村合宿、修学旅行の活動を今後の生活に生かす～

人生を豊かにするものが3つあると考えています。

1つ目は「旅」です。旅先で、実物を自分の目で実際に確かめることで得られる感動や理解は、写真やネットで見たり、聞いたりするより遙かに大きく、かけがえのないものになります。

2つ目は「人」です。一人一人が役割を果たそうと努力するとともに、仲間と協力して取り組むことで、自分たちの暮らしを充実させたり、向上させたりすることにつながります。そして

3つ目は「本」です。本など（地球村合宿や修学旅行の事前の調べ学習や、ガイドさん、担当者さんからの説明等も含む）から得られる新たな知識や教養は、私たちのもっている世界観を広げてくれます。



今回、5年生は12月2日（木）、3日（金）に地球村合宿へ、6年生は12月9日（木）、10日（金）に修学旅行へ出かけ、それぞれ活動してきました。



子供たちは、活動を成功させようと事前から準備を進め、実際に集団宿泊活動という普段と異なる生活環境の中で、見たり聞いたりしながら豊富な知識を得ることができたと思います。また、自然や文化に親しむことに加え、よりよい人間関係を築くなどの集団生活のあり方や、公衆道徳などについての体験を積むこともできました。こうした実体験を通して、子供たちは、大きな充実感や満足感を得たものと思っています。

修学旅行の振り返りから

6年1組が成長したことは、時間を意識して団体でも行動できるようになったことだと思う。先生に言われる前に気付ける人も、気付いてみんなに教えてくれる人も増えたから、団体でもみんなが時間を意識できるようになったと思う。今まで「静かにして」や「並ぶよ」などの注意や仲間を仕切ることをしていなかった人も、「5分前だよ」とみんなに知らせてくれていた。また人の話を聞くときに、その人の方を向いて静かに聞けるようになったと思う。

直していききたいことは、挙手発言が少ないし、質問や感想を言える人が限られているので、みんな積極的に話ができるようになるといいと思う。私も頑張るけど、今までもこれからも一緒にいる仲間だから、「いつも一緒にいるから」とか、「もう、この人は何やってもいい」とか、相手を決めつけずに、みんなが一人一人を大事に、仲間を思う気持ちを大切にしていきたい。

今回の宿泊行事には、人生を豊かにする3つの要素がすべて含まれていたと思います。だからこそ、このような貴重な体験をした5、6年生は、宿泊研修で得た財産を今後の活動につなげ、学校生活を更に豊かにしていくことでしょう。

冬休み明けも、5、6年生のリーダーシップのもと、全校で「自分を思いやる」「仲間を思いやる」ことができる一人一人を目指します。